

宮城建設株式会社

所在地 岩手県久慈市新中の橋第4地割35番地の3

従業員数 368人

事業内容 総合建設業

(令和3年7月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

健康経営の取り組みを強化することになったきっかけは、従業員の高齢化と有所見率の高さでした。特に生活習慣病に関する所見率が高く、高齢化に伴ってさらに悪化することが懸念されました。疾病の改善と健康保持、増進への取り組みについて全国土木建築国民健康保険組合の仙台健康支援室に相談をさせていただき、「健康経営」について知ることができました。「健康経営」を継続していくことが、有所見率の低下につながると考えています。

「健康は全ての基盤である」との認識の下、従業員一人ひとりが、心身ともに健康で、いきいきと働き続けることができる職場環境づくりに努めています。

特に力を入れた取り組みとその効果

会社に勤めている期間のみならず、定年後も引き続き健康に過ごせるよう、生活習慣病予防のための特定保健指導の積極的な支援を行っています。実施場所の提供及び就業時間の実施とし、令和2年度の実施率は88%でした。令和3年度定期健康診断における特定保健指導対象者数は前年比3割減少しております。

また、検査項目の多い人間ドックを受診することで、健康への意識向上のきっかけとしていただきたく、40歳と50歳を対象に会社で自己負担分を全額補助しています。

その他、喫煙率低下を目指して、禁煙外来受診料の自己負担分を会社負担とする支援も開始し、今後の成果に期待しているところです。

新型コロナウイルス感染症流行をきっかけに感染症対策を見直し、会社対応方針を随時発信するとともに、各事業所での日々の体調管理、感染症対応のBCP作成、定期的な全社員の体調把握など、体制を整えました。ワクチン接種後の体調管理として「無理をしない、させない」職場環境にするため、体調の良し悪しに関わらず、接種後は特別休暇としています。

健康経営宣言

当社の持続的な成長のため、「健康は全ての基盤である」との認識の下、従業員一人ひとりが、心身ともに健康で、いきいきと働き続けることができる職場環境づくりに努めます。

- ・ 受動喫煙対策として、原則、事業所内（屋内）禁煙とします。
- ・ 2025年度までに喫煙率10%減を目標とし、禁煙に向けた支援を行います。
- ・ 従業員の健康保持・増進のため、特定保健指導実施率100%を目指します。実施場所の提供および就業時間内の実施とし積極的な支援を行います。

令和2年10月15日

宮城建設株式会社

代表取締役社長 竹田 和正



従業員の健康への意識も高まりました。

産業医による健康講話の様子(コロナ禍以前)